株式会社 エム・システム技研

取扱説明書

マルチループ用フィールドネット形変換器 ***25•UNIT*** シリーズ

日立 HIZAC リモート I／O MINI

通信ユニット

25CH

このたびは、エム・システム技研の製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。本器をご使用いただく前に、下記事項をご確認下さい。

概　要

主な機能と特長

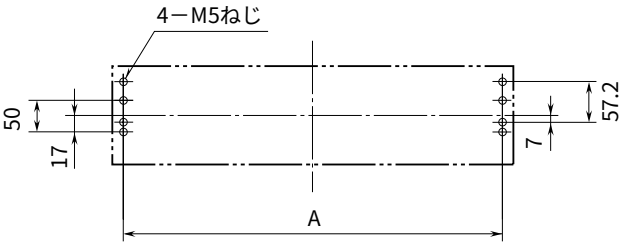
●25CH は、リモート I／O ユニット 25•UNIT を取付ける、日立 HIZAC リモート I／O MINI インタフェースを内蔵した通信ユニットです。 ●取付台数は 4 台から 16 台まで各種用意されています。 ●供給電源は一括供給です。

設　置

設置には次のような場所をお選び下さい。
●屋内で、周囲温度が -5 ～ +55℃の場所
●湿度が 30 ～ 90 %RH で、結露しない場所
●雨や水のかからない場所
●腐食性ガス、粉塵や振動のない場所
取付は下図の要領で行って下さい。

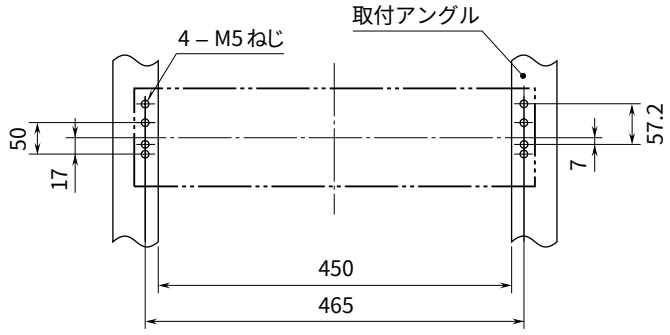
取付寸法図（単位：mm）

■壁取付の場合



A：　4 台取付用　265
　　8 台取付用　365
　　12 台取付用　465
　　16 台取付用　565

■ラック取付の場合（25CH － 112 のみ）

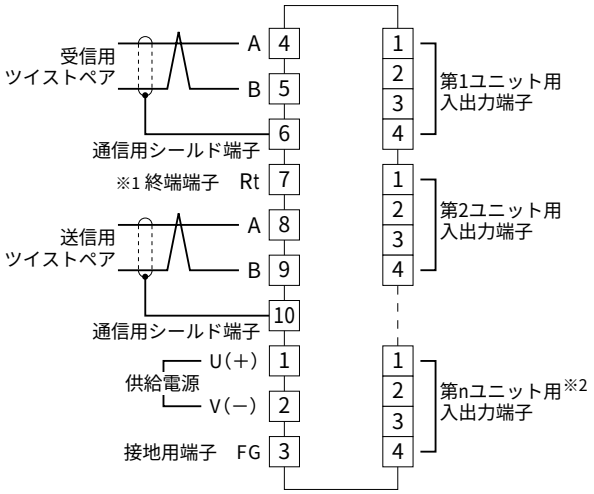


（注）ラックの下側に適当な配線スペースをおとり下さい。

接　続

各端子の接続は下図の要領で行って下さい。

端子接続図



※ 1、端末のモジュールのとき A 端子と短絡。
　ただし、0.75 mm² のケーブル使用時は A 端子と短絡せずに
　A － B 端子間に 150 Ω 1／2 W 抵抗を接続して下さい。
※ 2、n は形式により異なります。

設　定

①ディップSW（■：ノブの位置を示します。）

■□ 8　1
■□ 7
■□ 6
■□ 5
■□ 4
■□ 3　32
　子局に割付けられたチャンネルNo.の先頭番号を設定（00～3F）
　この図では00です。

■□ 2　OUTPUT HOLD　ONすると、親局異常になったときの直前のデータを保持

■□ 1　TEST MODE　ON　親局とつないでループバックテストするときON

②SLOT No.
25・UNITで使用する入出力ユニットの個数を設定
0：　1ch.
F：16ch.

LED について

SEND ：**送信** NRZ **信号**
RCV　：**受信** NRZ **信号**
MA ERROR　：**親局異常時点灯**
WDT ERROR：**ウォッチドッグタイマ・エラー時点灯**
PWR　：**供給電源** ON **時点灯**
RUN　：CPU **正常時点灯**

点　検

①端子接続図に従って結線がされていますか。
②電源電圧は正常ですか。
　電源端子①－②間をテスタの電圧レンジで設定して下さい。
③入力信号は正常ですか。
　入出力ユニットの仕様通りの電圧が現れているか測定して下さい。
④通信状態は正常ですか。
　ディップSW、SLOT No.の設定を確認して下さい。
　PWR、RUN LEDが点灯し、TEST MODEになっていないこと、MA ERROR、WDT ERRORが消灯していることを確認して下さい。
　通信中はSEND、RCV LEDがうっすらと点灯していることを確認して下さい。
⑤終端局の場合、⑦－⑧端子間を短絡して下さい。

雷対策

　雷による誘導サージ対策のため弊社では、電子機器専用避雷器＜エム・レスタシリーズ＞をご用意致しております。併せてご利用下さい。

保　証

　本器は、厳密な社内検査を経て出荷されておりますが、万一製造上の不備による故障、または輸送中の事故、出荷後3年以内正常な使用状態における故障の際は、ご返送いただければ交換品を発送します。